

ほほえみ

- P2 理事長メッセージ
- P3 病院長メッセージ
- P4 鶴友会の新たな仲間を迎えて
- P5 新規導入医療機能の紹介
- P6 患者満足度向上の取り組み
- P7 鶴翔苑の取り組み
- P8 外来担当医表・案内



最良の医療・福祉サービスを提供する。
笑顔に満ちた地域の施設を目指す。

新年度の

ご挨拶

医療法人社団鶴友会 理事長

介護老人保健施設

メイデイエイト鶴翔苑 施設長

● 鶴田克家

新年度を迎えて

新年度を迎え、本年度も皆さまとともに新たな一步を踏み出せることを、大変嬉しく思います。日頃より当法人の運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

近年、社会情勢は大きく変化し続けており、医療・介護・福祉の現場においても、さまざまな課題に直面しています。そのような中であっても、鶴友会が地域の中で役割を果たし続けることができているのは、職員一人ひとりの存在があってこそです。

本年度も多くの新しい職員を迎えることができました。新たな仲間が加わることは、鶴友会にとって大きな力であり、未来への希望でもあります。これまで培ってきた想いや文化を大切にしながら、新しい風を取り入れ、組織としてさらに成長していきたいと考えています。

私はこれまで、「鶴友会の魂は“人”である」と申し上げてきました。どれだけ時代が変化しても、それを支えるのは人であり、人と人とのつながりであるという考えは変わりません。

医療や介護の現場では、時に困難な状況に直面することもあります。しかしそのような中でも、患者さん、ご利用者、そしてご家族に安心を届けるのは、現場で関わる一人ひとりの姿勢と想いです。

そしてもう一つ大切にしたいのは、「笑顔」です。笑顔は安心を生み、信頼を育て、やがて人と人とのつながりをより強くしていきます。鶴友会に関わるすべての人が、笑顔でいられる組織でありたいと願っています。

これからも、人を大切にし、人と人とのつながりを大切にしながら、地域に寄り添う医療・介護・福祉を続けてまいります。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。



新年度に向けて

日頃より当法人の取り組みにご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

本年度、当法人は「地域包括ケアの深化」、すなわち「地域で完結する医療とケアの実現」を柱に、地域における機能強化を図ってまいります。2020年より訪問診療に注力する中で、高齢の非がん慢性疾患患者において、感染症や心不全増悪、嚥下機能低下等を契機とした急性増悪により入院加療を要する症例が増加している現状を認識しております。こうした課題に対し、在宅医療と入院医療を連続した診療プロセスとして再構築し、早期介入による重症化予防に加え、軽症段階から地域包括ケア病棟での受け入れを行うことで、在宅復帰を前提とした入院医療の質向上を図ってまいります。

また、慢性心不全、慢性腎臓病、反復性誤嚥性肺炎、悪性腫瘍などの患者に対しては、訪問診療を基盤に、当院の外来・入院（緩和ケアを含む）機能、看護、リハビリテーション、栄養管理、さらには介護老人保健施設機能を有機的に連携させ、ACP（アドバンス・ケア・プランニング・人生会議）を踏まえた意思決定支援のもと、生活と治療の両立を支える体制を強化してまいります。

さらに本年度は「法人の文化を再構築する年」と位置づけ、「患者にとって最適な医療・ケアの提供」を判断基準とした組織運営と人材育成を推進するとともに、DXの活用による診療・業務の効率化と質の向上に取り組めます。地域の医療機関・介護事業所の皆さまとの役割分担と相互補完を一層明確にし、日常的な連携体制の強化を通じて、地域包括ケアシステムの実効性向上に貢献してまいります。

本年度もどうぞよろしくお願い申し上げます。

医療法人社団鶴友会
鶴田病院
病院長

● 鶴田 豊

新年度の

ご挨拶



新しい仲間、はじまる春。

今年度、鶴友会には新たに20名の仲間が加わりました。多職種にわたる新しいメンバーを迎え、院内はこれまで以上に活気にあふれています。

看護師・准看護師、保健師、リハビリスタッフ(PT・OT・ST)、歯科衛生士、介護福祉士、臨床工学技士、事務職員と、それぞれの専門性を持った仲間が加わり、チーム医療のさらなる充実が期待されます。

新しい仲間とともに、患者さんにとってより良い医療サービスを提供できるよう、職員一同、これからも一歩ずつ前進してまいります。

また、新入職員が安心してスタートできるよう、各部門の役割や業務内容を知る機会を設け、組織全体の理解を深める取り組みも行っています。自分の役割をイメージしながら、少しずつ職場に馴染んでいける環境づくりを大切にしています。

看護・介護部門では、3日間の研修を実施し、基礎的な知識や技術に加え、電子カルテなどのシステムについても学びます。

今後も職員一人ひとりが力を発揮しながら、地域の皆さまに信頼される医療を届けてまいります。引き続き、よろしくお願いいたします。



● 理事長講話



● 病院長講話



● 看護介護部オリエンテーション

出会いが、チームになる。

4月4日、新入職員を囲んだお花見の会を開催しました。

当日は、部署や職種の垣根を越えて多くの職員が参加し、和やかな雰囲気の中で交流を深めることができました。新入職員にとっては、職場の雰囲気を感じながら先輩職員と話す貴重な機会となり、自然と笑顔が広がる時間となりました。

鶴友会では、このような交流の場を大切にしながら、新しい仲間が安心して成長できる環境づくりに取り組んでいます。

これからもチーム一丸となって、より良い医療の提供に努めてまいります。



見えない不安を、 見える安心へ。

血糖と飲み込みを“見える化”し、
患者さんにやさしい医療を実現します

鶴田病院では、患者さんにより安心して検査や治療を受けていただけるよう、新たな医療機器の導入を進めております。

今回ご紹介するのは、血糖の変動を把握する「リブレ」と、飲み込みの状態を評価する「ポータブル嚥下内視鏡」です。

これらはいずれも、患者さんの負担を軽減しながら状態を“見える化”し、より適切な医療につなげることを目的としています。

1 リブレ

持続血糖測定器「リブレ」

リブレは、腕に装着したセンサーにより、血糖値の変動を持続的に確認できる医療機器です。

従来のように毎回指先に針を刺して測定する必要がなく、日常生活の中で血糖の変化を把握することが可能です。



指先採血の負担軽減と、血糖変動の見える化



飲み込む時の
喉の動きを
観察します。

どこでも検査可能 × 食べる力の支援

嚥下内視鏡 (VE) 2

ポータブル嚥下内視鏡

ポータブル嚥下内視鏡は、飲み込みの状態を直接確認できる検査機器です。

小型で持ち運びが可能なため、病室やご自宅など、患者さんが普段過ごされている環境で検査を行うことができます。

また、歯科医師・言語聴覚士・歯科衛生士が連携し、評価からリハビリ、口腔ケアまで総合的に支援します。

鶴田病院では、患者さんの負担をできるだけ軽減しながら、安心して治療を受けていただける環境づくりに取り組んでいます。

今後も、患者さん一人ひとりに寄り添った医療の提供に努めてまいります。

ご相談・お問い合わせ：詳しくはお気軽にスタッフまたは外来窓口までご相談ください。

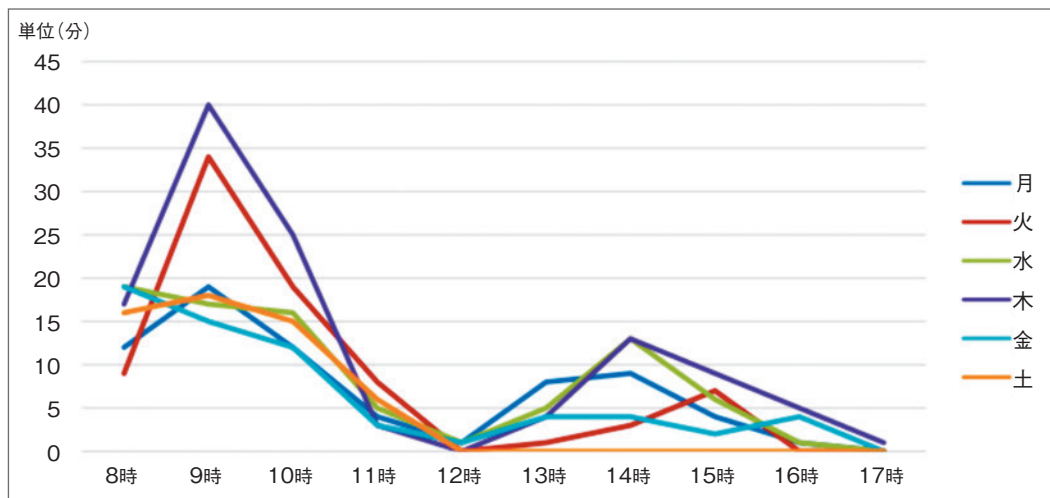
患者さんの声とデータをもとに、 より良い外来環境を目指しています

鶴田病院では、患者さんにより安心してご利用いただけるよう、2026年1月に外来の待ち時間調査を実施いたしました。

その結果、受付から診察開始までの待ち時間は、診療科によって差はあるものの、平均で約20分であることが分かりました。

さらに、曜日や時間帯によって来院される患者さんの数に偏りがあり、特に午前中の時間帯に患者さんが集中する傾向が見られました。

(グラフ1) 曜日・時間帯別来院状況



※午前中に来院が集中する傾向が見られます

当院は予約制で診療を行っておりますが、こうした時間帯の集中により、待ち時間が長くなる場合がございます。

■ 表1 外来待ち時間調査結果(2026年1月)

診療科	受付～診察開始 対象者数(人)	平均待ち時間(分)	診察終了～会計 対象者数(人)	平均待ち時間(分)
内科	228	18	389	16
外科	19	25	41	15
緩和ケア内科	5	35	16	9
整形外科	7	12	10	25
全科(平均)	259	19	459	16

※全体として待ち時間は概ね20分前後で推移していますが、診療科により差が見られます。

このような状況を踏まえ、現在は予約時間の分散を図るなど、できるだけスムーズに診療を受けていただけるよう改善に取り組んでおります。

ご不安な気持ちで来院される患者さんに、少しでも安心してお過ごしいただけるよう、今後も継続して待ち時間の把握と改善に努めてまいります。

患者さんにとって快適で安心できる外来環境の実現を目指し、引き続き取り組んでまいります。

外来待ち時間の 改善に向けた取り組みについて

ICTと介護テクノロジーで支える安心のケア

メディエイト鶴翔苑では、ICTや介護テクノロジーを活用し、ご利用者のADL・QOLの向上と安全確保、そして職員の負担軽減の両立を目指しています。

このたび、新たに見守り機器や通信機器を導入し、より安心・安全なケアを提供できる体制を整えました。今後もICTや介護テクノロジーを積極的に活用し、より質の高い介護サービスの提供に努めてまいります。

ICT活用

■ 介護ソフト「ワイズマン」

介護ソフト「ワイズマン」を活用し、記録や情報共有をデジタル化しています。タブレットなどを使用することで、記録の効率化と迅速な情報共有を実現しています。



介護テクノロジー

■ 眠りSCAN

パラマウントベッド株式会社の見守り支援システム「眠りSCAN」を30台導入しました。ご利用者の睡眠状態や離床を把握できるため、夜間の見守り体制がより強化されました。

■ 眠りSCAN eye

眠りSCAN eye(見守りカメラ)を10台導入しました。ご利用者の安全確認をサポートし、転倒などのリスクの早期発見につながります。

■ インカム

26台のインカムを導入し、職員同士の連携がよりスムーズになりました。迅速な情報共有により、より安心・安全なケアにつながっています。



熊本県老人保健施設協会 会長表彰 受賞

2026年3月5日(木)、熊本県医師会館において開催された「令和7年度熊本県老人保健施設協会 会長表彰」において、メディエイト鶴翔苑リハビリテーション科の萩原主任が受賞し、表彰を受けました。

本表彰は、介護老人保健施設において長年にわたり精勤し、地域や協会での活動および功績が顕著であると認められた職員に贈られるものです。

萩原主任の長年にわたる業務への真摯な取り組みと、地域および熊本県老人保健施設協会への貢献が高く評価され、このたびの受賞となりました。今後も受賞者が増えるよう、職員一同より一層努力してまいります。



県老健協副会長を務める
鶴田理事長



「ご利用者の笑顔を大切に、
これからも努めてまいります」

外来診療一覧表

※予約制です。急患は必要に応じて対応いたします。

※土曜日は午前中のみ診療です。

※手術・病棟診療・週などによる変更が発生する場合があります。

診療科		月	火	水	木	金	土(午前中のみ)
内科	午前	鶴田克家 續 泰史 境野成次	鶴田克家 續 泰史 境野成次	續 泰史 境野成次	鶴田克家 境野成次	續 泰史 境野成次	續 泰史 1・3週 鶴田克家 2・4週 山本英一郎 不定期 (非常勤・熊本大学病院)
	午後	鶴田克家 續 泰史 境野成次	續 泰史 境野成次	續 泰史 境野成次	鶴田克家 續 泰史 境野成次	續 泰史 穴井美樹 (非常勤・熊本大学病院)	中村洸介 不定期 (非常勤・熊本大学病院)
外科 鼠径ヘルニア外来 CVポート外来	午前	村野武志	山口祐二	鶴田 豊	山口祐二	村野武志	鶴田 豊 1・3週
	午後	村野武志	担当医	村野武志	村野武志	担当医	山口祐二 2・4週
整形外科	午前						山城和馬 2・4週 (非常勤・成尾整形外科病院)
緩和ケア外来	午前	上妻精二 再診(完全予約制) ※木:1・3週					
	午後	上妻精二 新患(完全予約制) ※木:1・3週					
歯科口腔外科	午前	松岡祐一郎					松岡祐一郎 2・4週
	午後	松岡祐一郎		水曜・午後 非常勤医師 (熊本大学病院)	松岡祐一郎		
腹水外来	終日	完全予約制					
内視鏡検査	午前	山口祐二	村野武志	鶴田克家	岩越友紀 (非常勤・熊本大学病院)	鶴田克家	村野武志 1・3週
	午後			鶴田克家	岩越友紀 (非常勤・不定期)	鶴田克家	
在宅診療科	午前	鶴田 豊	鶴田 豊 倉本浩史 (非常勤) 青野梨恵 (非常勤)	非常勤医師 1・3・5週	鶴田 豊 青野梨恵 (非常勤) 非常勤医師 1・3・5週	鶴田 豊	非常勤医師 不定期
	午後	鶴田 豊 倉本浩史 (非常勤)	倉本浩史 (非常勤)	鶴田 豊 2・4週 非常勤医師 1・3・5週	鶴田 豊 2・4週 山口祐二 非常勤医師 1・3・5週		

医療法人社団鶴友会

〒862-0925 熊本市東区保田窪本町 10-112



鶴田病院

☎096-382-0500(代) ☎096-382-0592



介護老人保健施設

メディエイト 鶴翔苑

鶴翔苑 通所リハビリテーション

☎096-387-8181(代) ☎096-387-7001



在宅総合支援センター

☎096-385-5470(代)

鶴友会 訪問リハビリテーション

鶴友会 居宅介護支援センター

鶴友会 訪問看護ステーション

鶴友会 訪問介護ステーション

熊本市東2 地域包括支援センター ささえりあ保田窪



笑顔で支え、笑顔でつながる。

私たちと一緒に働きませんか？



一緒に働く仲間を募集しています

鶴友会は、人と人とのつながりを大切にする法人です。医療・介護・福祉を通して、地域の笑顔とともに支えませんか？

採用情報はこちら

